

## ■ 地域連携ニュース ■

平成31年1月26日（土）に、南海トラフ沿いを震源地とする大規模な地震を想定した「災害訓練」を実施しました。当院では年に2回の火災訓練に加えて、年に1回、災害訓練を実施しています。今回は被災による外来患者や、院内で手術中断をした患者など症状例を30通り設定し、病院・老健・在宅部門から総勢140名が参加しました。

昨年は大阪北部地震や西日本豪雨、台風など大きな災害が発生し、その際にも災害対策本部を設置し、被害状況や医療体制の確認など実際の災害発生時に必要な活動を経験しました。それらの経験も活かし、より実践的な訓練内容になるよう、情報連絡手段のひとつにトランシーバーを導入したり、トリアージ（患者状態による緊急性の区分け）を受けた患者を1階から階上階の病棟へ搬送するために、エアストレッチャー（廊下や階段を滑らせて引くことが出来る）を試験的に使用しました。

